

2021年度 がん検診実施状況

		受診者数	要精密検査	精査受診	精密検査 受診結果		
					異常なし	がんの診断 (疑い含む)	その他の疾患
胃がん検診	胃部X線	1,939	203 (10.5%)	137 (67.5%)	24 (17.5%)	0 (0.0%)	113 (82.5%)
	胃内視鏡	1,263	107 (8.5%)	72 (67.3%)	5 (6.9%)	0 (0.0%)	67 (93.1%)
肺がん	胸部X線	5,482	39 (0.7%)	22 (56.4%)	14 (63.6%)	1 (4.6%)	7 (31.8%)
大腸がん	便潜血	6,058	318 (5.2%)	180 (56.6%)	54 (30.0%)	3 (1.7%)	123 (68.3%)
乳がん	マンモグラフィ	1,205	76 (6.3%)	67 (88.2%)	44 (65.7%)	2 (3.0%)	21 (31.3%)
子宮頸がん	頸部細胞診	995	20 (2.0%)	15 (75.0%)	6 (40.0%)	4 (26.7%) ※ 前がん病変含む	5 (33.3%)

胃がん検診

胃部X線

(バリウム検査)

胃部X線検査を受けたのは1,939人でした。このうち10.5% (203人) 「要精密検査」と判定されました。

要精密検査者のうち医療機関を受診したのは67.5% (137人) 胃がんの診断はありませんでした。

その他の疾患と診断されたのは82.5% (113人) でした。(胃潰瘍 胃ポリープ 胃粘膜下腫瘍 慢性胃炎 ピロリ菌感染 など)

胃内視鏡

(胃カメラ検査)

胃内視鏡検査を受けたのは1,263人でした。このうち8.5% (107人) の方が「要精密検査(生検含む)」「要治療」と判定されました。

要精密検査・要治療者のうち医療機関で診断を受けたのは67.3% (72人) 胃がんの診断はありませんでした。

その他の疾患と診断されたのは93.1%(67人)でした。(胃潰瘍 萎縮性胃炎 びらん性胃炎 ピロリ菌感染 逆流性食道炎 十二指腸炎など)

肺がん検診

胸部X線

胸部X線検査を受けたのは5,482人でした。このうち 0.7% (39人) 要精密検査と判定されました。

要精密検査者のうち医療機関を受診したのは56.4%(22人) 肺がんの診断は4.6% (1人) でした。

その他の疾患と診断されたのは31.8% (7人) でした。(間質性肺炎、炎症性結節、 陳旧性炎症など)

大腸がん検診

便潜血検査

便潜血検査を受けたのは6,058人でした。このうち5.2%（318人）要精密検査と判定されました。
要精密検査者のうち医療機関を受診したのは56.6%(180人) 大腸がんの診断は1.7%（3人）でした。
その他の疾患と診断されたのは68.3%（123人）でした。（大腸ポリープ：腺腫、その他の大腸ポリープ、大腸憩室、痔疾患、大腸炎など）

乳がん検診

マンモグラフィ

マンモグラフィを受けたのは1,205人でした。このうち 6.3%（76人）要精密検査と判定されました。
要精密検査者のうち医療機関を受診し精密検査を受けたのは88.2%(67人) 乳がんの診断は3.0%（2人）でした。
その他の疾患と診断されたのは31.3%（21人）でした。（乳腺線維腺腫、乳腺のう胞など）

子宮がん検診

子宮頸部細胞診

子宮頸部細胞診を受けたのは995人でした。このうち 2.0%（20人）要精密検査と判定されました。
要精密検査者のうち医療機関を受診したのは75.0%(15人) 子宮頸がん疑いが6.7%（1人） 、
子宮頸がんになる前の状態：前がん病変(高度異形成)と診断されたのは20.0%（3人）でした。
その他の疾患と診断されたのは33.3%（5人）でした。（軽度～中等度異形成、頸管ポリープ、子宮筋腫など）